

# E・N・S通信

No.13



埼玉県地球温暖化防止活動推進センター

Saitama Center for Climate Change Actions



## Index

表紙寄稿：埼玉県エコタウン課長 山野 均氏  
環境ネットワーク埼玉より  
会員活動の報告  
事務局からのお知らせ

足尾環境学習センター展望台からの風景



## 埼玉エコタウンプロジェクトが始動します

埼玉県エコタウン課長 山野 均

福島第一原発事故以来、日本のエネルギー政策は抜本的な見直しが迫られています。しかし国の議論は未だ腰が定まりません。そこで「地方自ら率先して創エネ・省エネの行動をおこそう!」。そういう想いでスタートしたのが埼玉エコタウンプロジェクトです。

全国では街全体のスマート化を目指すニュータウン開発が進んでいます。しかし私たちはあえて既成市街地のエコ化にチャレンジします。いま人が住んでいる既設住宅で太陽光発電などの創エネや断熱改修・家電買換などの省エネを徹底します。

まずはエコタウンの指定を受けた本庄市と東松山市で先行的に実践し、「こうすればエコの住宅ができた。」「地域でこれくらいエネルギーを減らせた。」「環境に優しく災害に強い地域が出来た。」そうした実践モデルをつくります。プロジェクトを進めるには、住民、事業者、行政がしっかりとタッグを組んで取り組まなければなりません。お仕着せのエコタウンではなく、住民の皆さんが求めるものをつくる。事業者の方には自由な参画で最適な技術やノウハウを提供していただく。行政は住民と事業者をしっかりとつないで支援する。三位一体で取り組んでいきます。

もちろん既成市街地のエコ化は一気呵成には進みません。地域には様々な課題があり、それを一つ一つ乗り越えていかなければなりません。その取り組みの軌跡こそが全国のモデルになる、そう信じて私たちはこのプロジェクトに取り組んでいます。





# ● 環境ネットワーク埼玉より

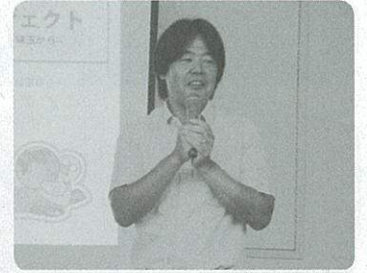
## NPO法人環境ネットワーク埼玉の総会を開催

6月16日(土)、大宮ソニックシティ市民ホールにおいて平成24年度通常総会を開催しました。総会前の特別講演として埼玉県温暖化対策課副課長の松山謙一氏より、「埼玉エコタウンプロジェクト」について、お話を頂きました。

本プロジェクトは、埼玉県内で再生可能エネルギーを中心とした創エネと徹底した省エネを地域全体で取り組むことにより、エネルギーの地産地消を具体的に進める街の実現を目指しています。本プロジェクトの推進により県内市町

村の創エネ、省エネへの取り組みがさらに進むことにより、温暖化対策にもつながることを期待したいと思います。

今回の総会では、特に認定NPOを目指すことを報告いたしました。



講演を行う松山氏

### 平成24年度事業計画

- 1 普及啓発及び相談助言：
  - ☆エコライフの推進
  - ☆普及啓発セミナー等の開催
  - ☆太陽光市民共同発電所の設置
  - ☆創エネ・省エネの普及啓発
  - ☆夏の節電対策 など
- 2 個人・団体の支援並びに交流及び連携の促進：
  - ☆さいたま市地球温暖化対策地域協議会運営支援
  - ☆ちちぶ定住自立圏構想環境基本計画策定業務
  - ☆埼玉グリーン購入ネットワークの事務局支援
  - ☆地域活動支援・連携促進事業
  - ☆家庭エコ診断事業
  - ☆中小企業向け省エネ診断事業の支援
  - ☆環境マネジメントシステムの支援事業
  - ☆見学会の開催 など
- 3 指導者育成：
  - ☆インターンシップの受け入れ
  - ☆事業所向け省エネ診断勉強会 など
- 4 調査研究および情報提供：
  - ☆センターニュース等の発行
  - ☆ホームページ・環境ネットワークプラザ等運営
- 5 その他
  - ☆各種イベントの後援・共催
  - ☆会員の拡大 など

### 役員体制が変わりました。 H24、H25の役員メンバーを紹介します。

代表理事	江田 元之		
副代表理事	男澤 望	荻原 洋志	
理事	秋元 智子	齊藤 勉	
	島崎 允行	堀田 辰一	
	川村 明雄		
監事	上領 園子	村重 嘉文	
			(敬称略)

### 賛助会費が改定となりました

旧) 個人会員	2,000円
団体会員(非営利)	2,000円(一口)
新) 個人会員	3,000円
団体会員(非営利)	3,000円(一口)

## ～夏を涼しく!!クールスポットへ行こう～実施報告

今夏も7月2日(月)～9月7日(金)の期間、全国で節電対策が実施されました。関東地方では特に数値目標は設定されませんでした。昨年引き続き節電対策が求められました。そこで当団体では、昨年引き続き「彩の国クールスポット」事業を実施しました。本事業は、電力使用量が一番高くなる夏の午後涼しく過ごせる水辺や公園、身近な施設(クールスポット)に出かけてもらい、家庭でのエアコンの使用を減らすことを目的としています。今年度は、昨年度クールスポットとして選定した県内276か所を広く知ってもらうため、ポスターやリーフレットを作成し、広く情報を発信しました。その結果、テレビ東京の番組「レディス4」やラジオNack5「CARLIFE & MOBILITY」で、本事業が取り上げられ紹介されました。





## 今年も一般家庭向け省エネ診断「うちエコ診断」はじまりました

うちエコ診断は、増加している家庭でのCO<sub>2</sub>排出量を削減するため、昨年度から環境省の事業として地域センターが事務局となって全国で展開しています。今年度も6月から申込受付を開始し、埼玉では既に70件を超える診断を行いました。うちエコ診断は、専門性を持ったうちエコ診断員が、各家庭のエネルギー使用量を事前に把握した上で、それぞれのライフスタイルに合ったオーダーメイド型の省エネ対策をご提案するものです。診断方法は、訪問診断、窓口診断、会場診断、団体診断の4通りで行っています。診断時間は、一家庭50分程度となっています。昨年度、埼玉事務局では、秋から1月中旬の短期間で200件を超える診断を行いました。環境省が全国で実施した「うちエコ診断」受

診後の満足度調査では、9割の方から「とても良い」「良い」の評価をいただいています。ご家庭の節電・省エネ対策としては是非一度受診してみてください。今年度よりホームページからも申し込みができるようになりました。詳しくは、<http://www.kannet-sai.org/uchieco/> をご覧ください。



### 「うちエコ診断員」の声



黄綿 正人氏

うちエコ診断は省エネ診断ですが、ご家庭が対象なので企業や工場と全く違った感じです。家庭では、家族構成・ライフステージ・健康状態・ライフスタイルが様々ですから、同じ住宅設備だとしても診断・対策は異なってきます。専用ソフトを利用しながら、対話の中で可能な対策!逆に選んではいけない対策!を区別しなければなりません。ですから上から目線で診断を与えるのではなく、受診者をご自分で省エネや二酸化炭素排出削減の作戦を立てるためのお手伝いをしていると思っています。

## 再生可能エネルギー事業への新たな取り組み

当団体は、再生可能エネルギー事業への新たな取り組みとして、農林水産省と環境省の2つの公募事業に応募し採択されました。

- ①「農山漁村再生可能エネルギー導入可能性調査支援事業(農林水産省の事業)」  
県内の農山漁村の資源を活用した再生可能エネルギーの導入可能性を調査し、地域主導で再生可能エネルギーを供給する取り組みを支援するものです。埼玉県

- や研究機関の協力を得て調査を行います。  
②「地域主導型再生可能エネルギー事業化検討業務(環境省の事業)」  
「都市と森をつなぐ再生可能エネルギー」協議会を組織化し、都市部「さいたま市」で実施する太陽光市民発電事業(プロジェクト名「スマートぐるっと」)、森林部「秩父市」で実施する木質バイオマスエネルギー事業(プロジェクト名「森の薪かえし」)を予定しています。

## インターンシップ実習生を受け入れました!



毎年県内の大学からのインターンシップを受け入れています。今年度は、8月～9月に、芝浦工業大学、跡見学園女子大学から

3名の学生を受け入れました。アンケート入力等の事務作業やイベントの運営補助、会議への参加など大変熱心に取り組む、当団体の活動をサポートしてくれました。これから社会人となった時、今回の経験が生かされることを期待したいと思います。



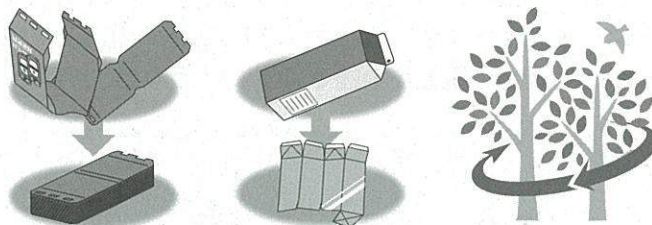
## 今年度の事業

環境省の補助事業として2つの事業を実施します。地域のNPOや関連団体とコンソーシアムを作り、一緒に温暖化対策に取り組みます。

### 1 新座市におけるマルチパック・アルミ紙パック回収事業

新座市内において、マルチパックやアルミコーティングされた紙パックの資源回収を進めるため、準備を進めています。新座市は、分別回収の種類や率が高く、市民の環境意識が高いと言われています。また、市民活動が活発な地域であるため、本事業終了後も市民主体の事業継続が期待できる地域です。現在、家庭や店舗から排出されるマルチパックは上質のパルプのため、リサイクルの過程で処理できずに残ってしまい、焼却処分されています。また、アルミコーティングの紙パックは、ほとんどの自治体で燃えるごみとして回収され、清掃工場で焼却処分されています。そのため、これらの資源は上質のパルプを使っているにもか

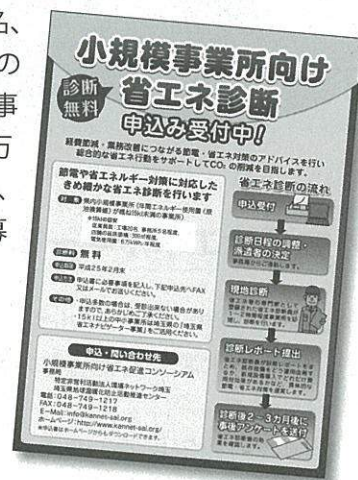
わらず、リサイクルが進んでいない状況があります。本事業では、市民の活動によって資源回収拠点（スーパーや商店街）を整備し、収集運搬に関わるエネルギーの削減とごみの削減、さらにそれに伴うCO<sub>2</sub>の削減を目指し、先駆的なりサイクル運動の推進を行います。



### 2 小規模事業所対象の省エネ診断事業

今年度は、家庭の省エネ対策指導ばかりでなく、小規模事業所（年間エネルギー消費量（原油換算）15kl未満）を対象とした省エネ診断を実施します。埼玉県では、中小事業所が多く、各事業所が省エネ対策に取り組むことによってCO<sub>2</sub>の削減を一層進めることができると考えています。省エネ診断では、専門知識を有する診断員が希望のあった事業所を訪れ、エネルギーの使用状況等を確認した後、それぞれの事業活動に合った、運用改善等のアドバイスを行います。CO<sub>2</sub>削減ばかりでなく、節電や経費削減にもつながります。今回対象としている15kl未満の事業所の目安

は、従業員では工場20名、事務所5名程度、店舗の延床面積：300㎡程度、事務所の電気使用量：6万kWh/年程度です。現在、診断希望の事業所を募集中です。



### さいたま市地球温暖化対策地域協議会を支援しています

市民・事業者・行政が連携し、さいたま市域の温室効果ガスの削減を推進できるよう、三者を取り持つ要の組織として平成18年に設立された、さいたま市地球温暖化対策地域協議会の事務局運営をサポートしています。

さいたま市地球温暖化対策地域協議会では、再生可能エネルギーや省エネをテーマにしたフォーラムやバスでの見学会、交流会などを開催しています。

今年度は、8月22日に親子施設見学会を開催し、かわさきエコ暮らし未来館と東京ガスのワンダーシップ環境エネルギー館を訪ねました。当日は45名（親子19組）の参加があり、親子でエネルギーについて考える機会になったと好評でした。





## ● 会員活動の報告

### 環境ネットワーク埼玉 会員見学会

大宮を時間より少し早く出発したバスは、赤城山麓を目指し東北道、北関東自動車道、国道122号線と快調に走り続けていきます。しかし、順調なも渡良瀬川沿岸まで、道は次第に細くなってゆきます。このバス本当に通れるのか参加者35名、次第に不安がつのります。

窓に当たる木々の枝を通り抜けると、そこは認定NPO法人樹恩ネットワークが推進する国産の間伐材を利用した



「樹恩割り箸」の製造工場の一つ、社会福祉法人三和会の障害者支援施設「エルシーヌ藤ヶ丘」。暑い中、作業員の方が一生懸命間伐材から割り箸を作っていました。

た。作業支援者の方から活動の様子、割り箸の消費先等活動の一端を教えてくださいました。

午後は近代化産業遺産そして日本の公害対策の起点ともなった古河鉱業足尾銅山(1973年閉山、世界遺産暫定一覧表候補)の通洞坑、足尾歴史館の見学をしました。今回の見学会で、知識をより深められたのは、NPO法人足尾歴史館の館長ならびに運営員の方の話上手さによる事は言うまでもありませんが、途中の車内で視聴した吉村公郎監督、宮島義勇撮影による日本の最初の公害と言われる足尾銅毒事件を題材にした、1974年製作のモノクロ映画「<sup>らんる</sup>檻の旗」が大変参考になりました。

足尾砂防堰堤脇の環境学習センター見学後、山火事や煙害、無計画伐採により廃村となった松木地区の緑の復興を車窓に眺めつつ帰路に着きました。産業と環境そして安全専一について学習した一日でした。(会員:上田 範文)

### 団体賛助会員(企業)

#### 株式会社 ユーパーツ

##### ◆会社概要◆

代表者 : 代表取締役社長 清水道悦

所在地 : 埼玉県熊谷市佐谷田1285-2

設立 : 昭和50年7月

事業内容 : 自動車中古部品・リビルト部品・優良部品等の販売、自動車部品検査機器の開発・販売、事故車・廃車の買取、自動車部品・車両の海外輸出、自動車・電動フォークリフトバッテリーの再生・販売

自動車リサイクルを通じて、廃車の適正処理による希少金属の回収、自動車リサイクル部品販売による資源循環をビジネスとしています。お客様には、どれだけ地球温暖化防止すなわちCO<sub>2</sub>排出削減に貢献しているかを具体的数値で表すことを実現し、データとして配信しています。(早稲田大学環境総合研究センターとグリーンポイントクラブとの産学共同の成果)

主業務であるリサイクル部品販売については、自社で開発した各種テスター機器を使用し、安心して使用できる高品質な部品の供給体制を構築しています。また、自社開発のバッテリーリカバリーシステムの技術により、自動車や重機等のバッテリーの再生に成功し、全国各地へ販売しています。

ユーパーツはこれからも持続可能な環境ビジネスを展開し、環境問題解決の一躍を担うべく挑戦します。

### 埼玉お日さまクラブより

国のエネルギー政策見直しや再生可能エネルギーの全量買取制度の開始などから、今自然エネルギーなどを活用した再生可能なエネルギーに注目が集まっています。そこで当クラブでは、自然エネルギーへの理解と普及を目指して、太陽光市民共同発電所の設置を行っています。平成20年度から準備を始め、昨年度まで県内に3基設置しました。

そして今年も、熊谷市の社会福祉法人ことぶき乳児保育園に設置することが決定しました。

ことぶき乳児保育園は、籠原駅から徒歩15分ほどのところに位置し、園児は0歳から5歳まで総勢120名ほどの大きな園です。園舎は、日当たり良好な鉄筋コンクリート2階建てとなっています。

今後の予定は、10月中旬ごろから寄付募集を開始し、12月ごろに園舎に太陽光発電システムを設置し、1月ごろには点灯式を行うこととなっています。

また今まで400人近くの方が、設置に対して寄付を寄せてくださいました。お礼と報告を兼ねて、設置場所の見学会を開催いたします。寄付者の方には、追ってご連絡する予定です。





## 事務局からのお知らせ

## 認定NPOを目指します

当団体は、信頼性の向上とさらなる活動を目指して認定NPOを申請する予定となっています。つきましては、認定NPOを目指し、広く寄付を募りたいと思います。

現在の認定NPO制度では、寄付を通じて多くの方に当団体の活動にご賛同いただけているかどうかの間われており、『3,000円以上の寄付を100人以上の人から得ている』ことが認定となる要件の1つになっています。また、寄付金税額控除制度も改正され、認定NPO法人へ寄付をいただいた場合、寄付金の一部が所得税額から控除されることができるようになりました。今後、認定NPOとして更なる活動の幅を広げていきたいと思っていますので、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## ☆5月1日に事務所を移転しました。

<新住所> 〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和5-6-5  
埼玉県浦和合同庁舎3階

TEL、FAX、メールアドレスに変更はありません。  
お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

## ★会員募集★

団体の活動を支援して下さる会員を募集しています!ぜひ私たちと一緒に活動しませんか?詳しくは事務局までお問い合わせください。

## 正会員(1口当たり)

会費種別	個人会員	団体会員(非営利)	団体会員(企業)
年会費	5,000円	5,000円	50,000円

## 賛助会員 ☆賛助会費を改定しました。

会費種別	個人会員	団体会員(非営利)	団体会員(企業)
年会費	3,000円	3,000円	10,000円

## スタッフからの一言



## 事務局長 秋元智子

暑い夏も過ぎ、食欲の秋です。紅葉・温泉、美味しいものが待ち遠しいです。皆さまのお誘い待っています!



## 穴見誠一

夏休みに白川郷へ。エアコンなくても快適な合掌造りこそ省エネ住宅! 例年以上の猛暑でしたが中は涼しかったです。



## 渋谷可奈子

毎日うだるような暑い夏もようやく終わり、食べ物のおいしい季節がやってきます。何を食べようかな?



## 柳澤俊康

現在、省エネ診断の受付調整窓口を担当しています。自分の省エネ改善(メタボ改善)が進んでいないので努力したいと思います。



## 後藤正喜

引っ越しをしました!窓からの眺望も良く、心地よい生活を送っています。色々な方から引っ越し祝いを頂き、感謝しています!



## 田中愛

4月から入りました。田中です。主にイベントを担当しています。時々自然の中へ出かけています。よろしくお願いします。

## ■表紙の写真より■



今年の夏の見学会で撮影した足尾銅山の写真です。一時は、鉱山精錬時の煙害により木々は枯れ、大量伐採により土砂が流出して草木が育たない荒廃した山になっていました。現地では、山に緑を取り戻そうと植林活動が盛んに行われています。

## 編集・発行

発行日 2012年9月30日

埼玉県地球温暖化防止活動推進センター / 特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉

埼玉県さいたま市浦和区北浦和5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎3階

TEL: 048-749-1217 FAX: 048-749-1218 <http://www.kannet-sai.org/>

閉館日: 土・日、祝日 開館時間: 9時~17時

情報やお知らせ等、是非お寄せください。

